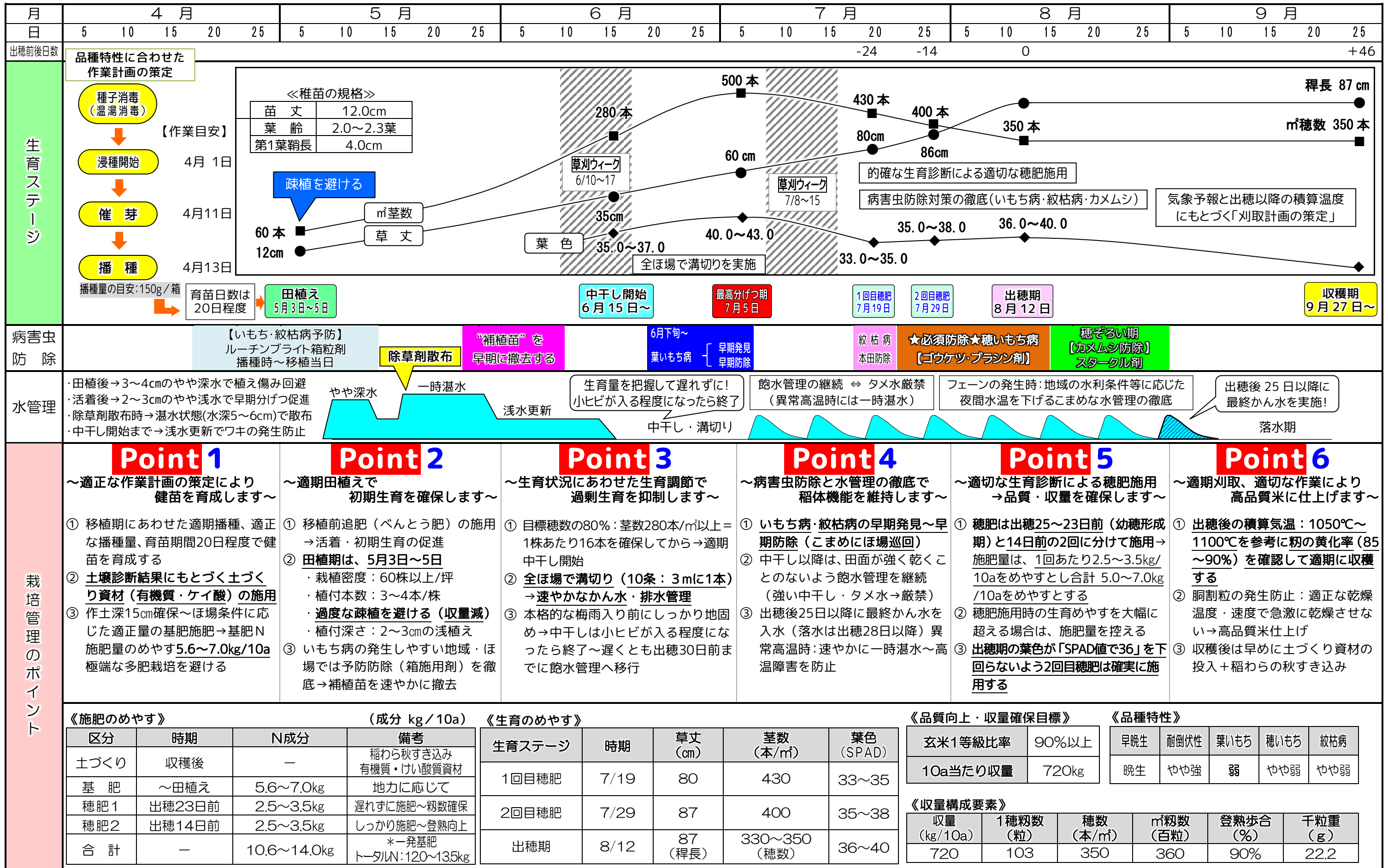
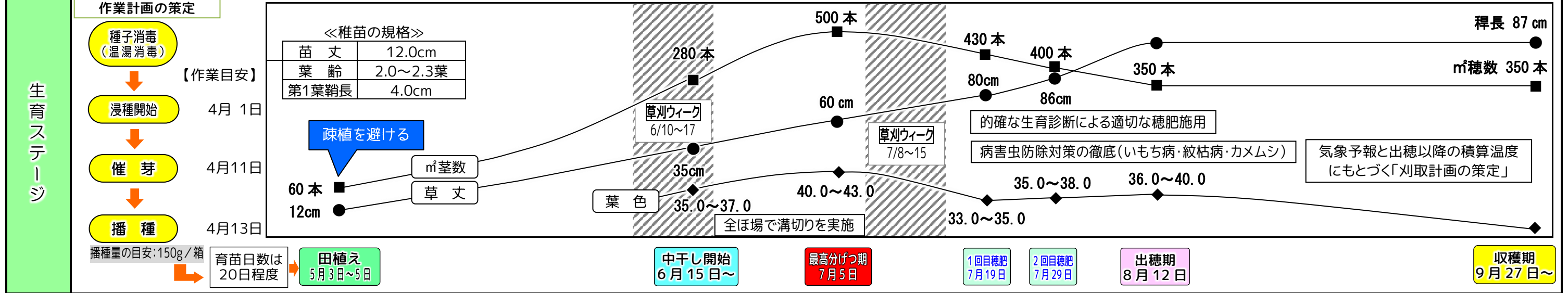


JAえちご中越 さんとう地域「あきだわら」栽培暦



月	4月					5月					6月					7月					8月					9月											
日	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25		
出穂前後日数																										-24	-14	0					+46				



病害虫防除

【いもち・紋枯病予防】ルーチンブライト箱粒剤 播種時~移植当日

除草剤散布

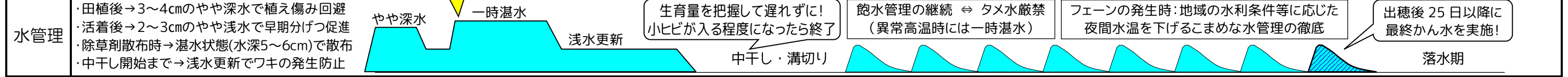
“補植苗”を早期に撤去する

6月下旬~ 葉いもち病 { 早期発見 早期防除 }

紋枯病 本田防除

★必須防除★穂いもち病 【ゴウケツ・ブラシン剤】

穂ぞろい期 【カメムシ防除】スタークル剤



- 栽培管理のポイント**
- Point 1** ~適正な作業計画の策定により健苗を育成します~
 - 移植期にあわせた適期播種、適正な播種量、育苗期間20日程度で健苗を育成する
 - 土壌診断結果にもとづく土づくり資材(有機質・ケイ酸)の施用
 - 作土深15cm確保~ほ場条件に応じた適正量の基肥施肥→基肥N施肥量のめやす5.6~7.0kg/10a
 - Point 2** ~適期田植えで初期生育を確保します~
 - 移植前追肥(べんとう肥)の施用→活着・初期生育の促進
 - 田植期は、5月3日~5日
 - 栽植密度: 60株以上/坪
 - 植付本数: 3~4本/株
 - 過度な疎植を避ける(収量減)
 - 植付深さ: 2~3cmの浅植え
 - いもち病の発生しやすい地域・ほ場では予防防除(箱施用剤)を徹底→補植苗を速やかに撤去
 - Point 3** ~生育状況にあわせた生育調節で過剰生育を抑制します~
 - 目標穂数の80%: 茎数280本/m²以上=1株あたり16本を確保してから→適期中干し開始
 - 全ほ場で溝切り(10条: 3mに1本)→速やかなかん水・排水管理
 - 本格的な梅雨入り前にしっかり地固め→中干しは小ヒビが入る程度になったら終了~遅くとも出穂30日前までに飽水管理へ移行
 - Point 4** ~病害虫防除と水管理の徹底で稲体機能を維持します~
 - いもち病・紋枯病の早期発見~早期防除(こまめにほ場巡回)
 - 中干し以降は、田面が強く乾くことのないよう飽水管理を継続(強い中干し・タメ水→厳禁)
 - 出穂後25日以降に最終かん水を入水(落水は出穂28日以降)異常高温時: 速やかに一時湛水~高温障害を防止
 - Point 5** ~適切な生育診断による穂肥施用→品質・収量を確保します~
 - 穂肥は出穂25~23日前(幼穂形成期)と14日前の2回に分けて施用→施肥量は、1回あたり2.5~3.5kg/10aをめやすとし合計5.0~7.0kg/10aをめやすとする
 - 穂肥施用時の生育めやすを大幅に超える場合は、施肥量を控える
 - 出穂期の葉色が「SPAD値で36」を下回らないよう2回目穂肥は確実に施用する
 - Point 6** ~適期刈取、適切な作業により高品質米に仕上げます~
 - 出穂後の積算気温: 1050℃~1100℃を参考に籾の黄化率(85~90%)を確認して適期に収穫する
 - 胴割粒の発生防止: 適正な乾燥温度・速度で急激に乾燥させない→高品質米仕上げ
 - 収穫後は早めに土づくり資材の投入+稲わらの秋すき込み

《施肥のめやす》 (成分 kg/10a)				《生育のめやす》				《品質向上・収量確保目標》		《品種特性》					
区分	時期	N成分	備考	生育ステージ	時期	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD)	玄米1等級比率	10a当たり収量	早晩生	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	紋枯病
土づくり	収穫後	-	稲わら秋すき込み 有機質・けい酸質資材	1回目穂肥	7/19	80	430	33~35	90%以上	720kg	晩生	やや強	弱	やや弱	やや弱
基肥	~田植え	5.6~7.0kg	地力に応じて	2回目穂肥	7/29	87	400	35~38	《収量構成要素》 収量 (kg/10a) 1穂粒数 (粒) 穂数 (本/m ²) m ² 粒数 (百粒) 登熟歩合 (%) 千粒重 (g) 720 103 350 360 90% 22.2						
穂肥1	出穂23日前	2.5~3.5kg	遅れずに施肥~粒数確保	出穂期	8/12	87 (稈長)	330~350 (穂数)	36~40							
穂肥2	出穂14日前	2.5~3.5kg	しっかり施肥~登熟向上												
合計	-	10.6~14.0kg	*一発基肥 トータルN: 120~135kg												